



奈良県版

No. 363

2023年4月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒630-8442
奈良市北永井町 277-3
田辺実気付
☎ 0742-61-7194
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

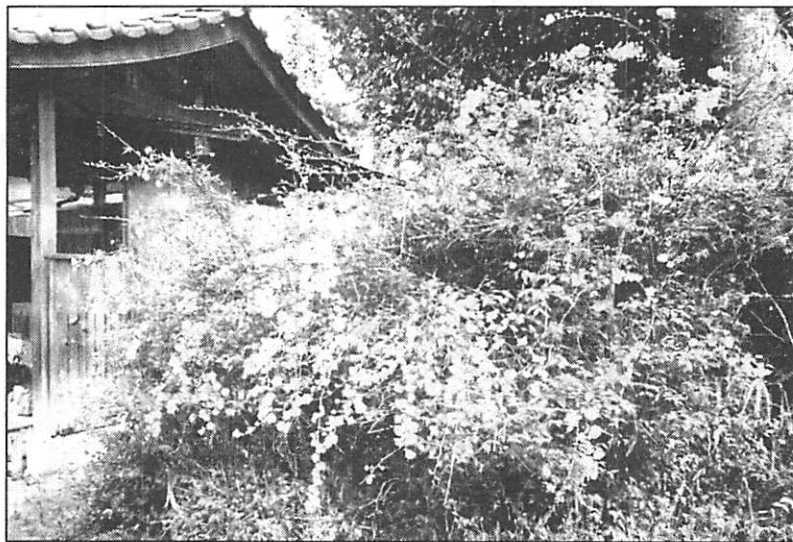
- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

山吹咲き誇る般若寺境内に 「長谷川テル訪問記念の碑」建立

—4・30除幕式を待つ—

全国のエスペランティスト、日中友好協会会員、国賠同盟会員をはじめ、長谷川テルに心を寄せている多くの方々のご理解と支援を得て、治安維持法犠牲者長谷川テルの顕彰碑が古刹般若寺境内に、4月8日設置され除幕式を待つばかりとなりました。

長谷川テル顕彰事業の提唱団体である国賠同盟奈良県本部関係者からも、除幕に向けて熱いメッセージが寄せられ、奈良・長谷川テル顕彰の会の広報誌「ヴェルダマーヨ通信」No.41に掲載されました。奈良・長谷川テル顕彰の会と、ご本人の了解を得てその一端を紹介いたします。



般若寺境内で鮮やかに咲き誇る山吹。91年前の4月30日、長谷川テルが、学友と訪れた般若寺境内は、この様に山吹が咲き乱れていました。「山吹燃ゆる」と「碑」の制作者坂口紀代美氏が命名しました。=4月8日、般若寺境内地藏堂横。

記念碑建立に寄せられたメッセージ

(一部です)

●積み上げて思いがようやく記念碑という形となつて、ここに立つ日を迎えることが出来、感無量です。テルの非戦の心を心から発信したいですね。

田中澄江(奈良市)

●「長谷川テル顕彰碑」の建立によって、諸民族間の平和が確立されるように。

福嶋繁男(奈良県・葛城市)

●戦争にひた走るこの国に今抗い生き、長谷川テルの鮮烈な生きざまを刻む碑に深く心にとどめます。

伊藤恵美子(奈良市)

●長い旅の一里塚に到達でき胸がいっぱい、感無量です。

宮城恭子(奈良市)

●「長谷川テル訪問記念の碑」の建立を初めて提唱した団体として、除幕式を盛大に迎えられることに、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良本部は、皆様への感謝の念に堪えません。

加藤宜之(奈良市)

●募金やメッセージを寄せてくださった皆さまに感謝の気持ちで一杯です。これからも、テルさんの「碑」を中心に、共に不戦と平和を願っていきたいと思います。

西久美子(葛城市)

●長谷川テルさんのことを知ってから、この日のくるのを待ちわびておりました。平和の塔(原爆の火)と10万

本のコスモスに守られて安らかにお眠り下さい。三村純子(大和郡山市)

●当日は所用があり欠席しますが、後日「碑」を拝見に伺います。

北浦吾郎(奈良市)

●お寺を訪れる人々にテルの短くも激しい生涯を知ってもらえることがうれしいです。

本英子(生駒市)

●「長谷川テル訪問記念の碑」の完成おめでとうございます。エスペラント語の文も楽しみです。実現のために努力されたみなさん、ありがとうございます。

杉下ゆき子(奈良市)

●多くの方のご協力により完成した記念の碑を見ることを楽しみにしています。

水谷奈美(奈良市)

●「新たな戦前」ではなく、「平和の準備」のために今こそ真の日中友好を。記念碑の建立は、「平和の準備」に大きな力となることを確信します。

稲次直樹(生駒市)

●「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式おめでとうございます。多くの人がこの碑を訪れ、長谷川テルのことを、その記憶にとどめることを願ってやみません。歴史的な意義をもつ事業の達成を心より喜んでおります。

田中輝男(奈良市)

●「新しい戦前」にならないように、テルを始め治安維持法犠牲者の事績を広く知らせましょう。

溝川悠介(生駒市)

●実物を見るのが、とても楽しみです。運動の中で人々のつながりが広がり、碑はそのことの表れであると思います。

田中郁(奈良市)

ご 案 内

第一部 除幕式

4月30日(日) 午後1時～2時 般若寺境内で

第二部 「長谷川テル顕彰事業全国交流集会」

午後3時半～5時 ホテル リガーレ春日野

第二部終了後、懇親会を行います。会費 5,000円

※「第二部」参加及び懇親会参加希望者は事前に県本部事務局に
連絡下さい。

(注) 般若寺境内で行われる第一部の除幕式に出席される方には
入山の際に、「拝観料」(500円)のお支払いをお願い致します。

2023年3月12日

奈良・長谷川テル顕彰委員会
会 長 宮城恭子
事務局長 田辺 実

季節の 言の葉

あがな
命あまた捨てて贖いし

九条を捨てよというか言葉弄して

日本婦人団体連合会の会長などを長く務められた櫛田ふきさんが、1993年雑誌「世界」に随想を書いた時、冒頭に掲げた歌です。櫛田さんが大事に書きとめてあった歌ですが、作者は未知の方です。何と今の世情に酷似していることでしょうか。

署名・会員拡大の自主目標達成特別期間（4月～6月）を成功させ、500名県同盟の早期実現と支部の確立を

国賠同盟奈良県本部

会長 加藤宣之

3月24日に開催された治安維持法

国賠同盟中央常任理事会において、今年
の5月16日の国会請願と6月7日
の中央理事会成功に向け2万人会員の
早期実現をめざし、署名・会員拡大の
自主目標達成特別期間（4月1日～6
月30日）が設定されました。

1972年に始まった国会請願署名
は今年で50回目となり、今日までの署
名の累計数は1,000万筆を超えて
います。

今年5月の国会請願めざす署名の到
達点は3月1日現在、全国では54、

688筆、目標の15.6%で、奈良
県においては個人署名500筆、団
体署名22筆となっています。

全会員に向けて「不屈」3月号を国
賠署名用紙と返信用封筒をセットし
てお届けしましたところ、県本部に
は連日、各地域の会員から国賠署名
が送付されて来ています。しかし、署
名目標にはまだまだ開きがありま
す。6月末までの特別期間中に役員
が先頭に会員の一人一人が5筆以上
の国賠署名を推進していくことが大
切です。あわせて県下の民主商工会
や民医連傘下の病院、その他の労働
組合など協力団体にも呼びかけ、5

月の国会請願日に向けて団体署名と
同時に個人署名の推進を呼びかけま
す。

映画「伊藤千代子の生涯」の 第三次上映運動と併せ 会員拡大を

常任理事会では署名推進活動と同
時に特別期間中の会員拡大で2万人
会員の早期実現が提唱されました。県
同盟としても昨年8月の前回総会で
自主目標として500名会員の目標
が設定されており、何としても会員拡
大目標をやり遂げなければなりません。
中央本部として県本部と併せて会
員拡大で5人拡大、10人拡大の顕彰
活動候補者を募り、拡大達成者の氏名
を「不屈」紙上に公表し、所定の記念
品の贈呈が用意されています。

映画「わが青春尽きるともー伊藤千代子の生涯」の第二次上映運動では、3月末現在、全国で78、500人が鑑賞しています。映画は第40回「2022年度」日本映画復興賞の受賞が決定しました。奈良県でも、昨年9、10月にとりくんだ映画上映運動で、奈良市、大和郡山市、大和高田市、生駒市を中心に865名の鑑賞者を集め、大成功を収めました。

この映画は5月から全国各地で第3次上映運動が始まります。この上映運動をあわせ、奈良市や郡山市など支部のあるところは、支部中心に、生駒市や高田市など支部のないところでは、支部づくりとあわせ取り組みを進めましょう。

政党・政治家の見識・立場を鋭く問いつける

「旧統一教会に関するアンケート」の結果

前県本部長 田辺 実

「旧統一教会問題を考える奈良の会」(以下「考える会」、代表・前圭一氏)が、統一地方選挙の前に奈良県知事候補と県議会候補に行った公開質問状による調査は、政党・候補者の統一教会問題に対する態度を見極める重要な判断材料を提供しており、政党・政治家の立場を鋭く問いつける結果となっています。「考える会」が文章で質問状を郵送して届け、期日までに返答の無い候補者には、電話で回答を要請するなど丁寧な要請にもかかわらず、半数ちかくの候補者が無回答であったこと自体問題であると考えます。

限られた「不屈」の紙面で、候補者の一人一人の回答をコメントすることは

出来ませんが、全員が無回答の公明党は、創価学会との関係で統一協会問題に対して毅然とした立場に立っていないことを示しています。また、自民党、維新所属の候補者の中には解散を主張する人もいましたが、回答を拒否した候補者がかなりの比重を占めており、政党として厳しく問われます。

共産党の県議候補全員が解散を主張
立憲民主は候補者として、「政教分離」の立場から、統一協会問題に正しく処する点で期待がもてる立場をしめしている候補者もいますが、無回答の候補者もおり政党としては一致した対応が望めません。日本共産党の5名の候補者が一致して、統一協会の性格を正しく規定し、解散を求めており、統一教会への正確に対応できる足場が確立していることを示しています。

選挙後も、それぞれの政党・政治家が、統一協会問題に対してどのような見解、態度で対応するかを問いつけることが大事な課題となっています。

署名数・会員数の到達(3月31日現在)
団体署名 二二筆(前月比0)
個人署名 五五〇筆(前月比五〇増)
会員数 三八六名
(前月比一増、減一五)

川柳

大和郡山支部 杉本 英雄

- ・野心の会タン力切る木を切る民意切る
 - ・あおる人白を切る人盾につば
 - ・増税は選挙の後のお楽しみ
- 奈良の愚僧
- ・阿保ボンが政治家になれた麻生さん
 - ・異次元の夫婦喧嘩で家燃やす

編集後記

今、私たち国民の暮らしは困窮しています。コロナ禍の痛手や不安は、まだおさまっていないのに、これでもかと思うほどの相次ぐ物価の高騰。そして岸田内閣による安全保障政策の大転換です。

敵基地攻撃能力の保有や大軍拡を決め、平和が壊されてしまう。そんな中で統一地方選挙が行われています。この4月号が届く頃、前半戦はもう結果が出ているのですね。

暮らしと平和を壊す勢力か、平和でも暮らしでも希望の持てる新しい政治か。

「戦争はイヤだ。暗黒政治は二度とゴメンだ」と強く思いを込めて一票を投じたいと思います。

「這うことさえできなくなっても手にはまだ平和を守る一票がある、八坂スミ

E・I